

編集方針と目次

Editorial policy and Table of Contents

「ニッタ統合報告書2022」の発行にあたって

ニッタグループがつくる製品の多くは、人目には触れにくい小さな部品や資材です。しかし、それらの製品は「これまで日本になかったもの」や「社会に必要な製品」で、私たちがお客様や社会の声に耳を傾け、一つひとつの製品と向き合い、試行錯誤と研究を重ねて生み出した、私たちの「想い」の結晶です。

その「想い」とは、お客様や社会の役に立ちたい、人々の幸せに貢献したいということ。

「Going ahead with you NITTAは動かす、未来へ導く製品で。世の中を前へ、そして人々を幸せに。」

これは2017年3月に制定した、ニッタグループの理念です。創業からの理念「発明・改良・円満」を継承し、よりグローバルに、そして、より変化の激しい未来社会に挑むために、役員やリーダーをはじめ、多くの社員が参画・策定しました。

この理念が示すようにニッタグループの使命は、未来へ導く製品をつくることであり、それによって社会や人々の幸せに貢献することです。今、「パーパス経営」が注目されていますが、パーパス(Purpose)は企業の存在意義であり、言い換えれば、それは「こうありたい」という構成員の「想い」であると考えます。

統合報告書においては財務等の定量的な情報はもちろんのこと、ニッタグループ社員の「想い」を皆様にお伝えすることを大切に考えました。役員、実務リーダー、現場スタッフ等可能な限り多くの社員が統合報告書の制作にかかわり、皆の「想い」をこの一冊に載せることを目指しました。「想い」は未来に進むための原動力であり、それを皆様にお伝えすることが、ニッタグループへの理解を深めていただけることにつながると信じています。

編集方針

本報告書は過去・現在・未来の財務情報と非財務情報を、中長期的な価値創造として総合的にお伝えする位置づけで作成したものです。株主・投資家、そして全てのステークホルダーの皆様に、ニッタグループの想いや未来への戦略について、より一層の理解を深めていただくことを目的としています。そのため、財務情報等の定量データをはじめ、各事業部別、製品別、また社会貢献活動等それぞれの取り組みやビジョンを多角的に示し、ニッタグループの企業価値へのご理解を深めていただき、また未来へ向けた価値創造への期待を抱いていただけることを目指しています。

Contents

01

オープニング

- 01 NITTAグループ理念
- 03 編集方針と目次
- 05 TCFDインデックス
- 06 統合報告書のロジカル体系図
- 07 トップコミットメント
- 11 新たな価値を生む基盤

02

価値創造ストーリー

- 15 NITTAの価値創造プロセス
- 23 中長期経営計画「SHIFT2030」
- 31 財務担当役員メッセージ

03

事業戦略

- 35 NITTAグループ事業戦略
- 37 セグメント別事業戦略
- 45 研究開発と知的財産

04

SDGs・ESGへの
取り組み

- 47 ESG経営の取り組み
- 51 環境への取り組み
- 61 社会への取り組み
- 71 コーポレート・ガバナンスの推進
- 83 社外取締役インタビュー

05

データ集

- 85 財務ハイライト
- 86 5年間の財務・非財務サマリー
- 87 株式情報・会社概要
- 88 グローバルネットワーク

北海道の当社敷地内にある樹^{かしわ}の樹

北海道十勝の地に立つ樹(かしわ)の樹は、ニッタ創業期、その樹皮から革ベルトの製造に不可欠な原材料となる「良質なタンニン」をもたらしてくれました。樹の恵みによって、外国製伝動ベルトを凌駕する品質を実現したニッタのベルトの需要は急拡大し、伐採する樹の本数も増えていきました。一度伐採した森が元の姿に戻るには長い年月を要することを危惧した創業者は、成長が早いカラマツの植林事業に乗り出します。また、樹皮以外を無駄にすることにも胸を痛め、研究を重ねた結果「ベニヤ」板を開発します。事業活動と環境保全との調和を大切にするという考え方は、今も当社に受け継がれています。